

リュウキュウアシブトゾウムシ（甲虫目ゾウムシ科）の 寄主植物について

小島弘昭

〒 243-0034 厚木市船子 1737 東京農業大学農学部昆虫学研究室

**Host Plant Record of *Ochyromera ryukyuensis* Kojima & Morimoto
(Coleoptera, Curculionidae, Curculioninae)**

Hiroaki KOJIMA

Summary. Host plant of an ochyromerine weevil, *Ochyromera ryukyuensis* Kojima & Morimoto, 1996, belonging to the curculionine tribe Tychiini, was confirmed as *Camellia japonica* (Theaceae). The larvae are leaf-miners of the mature leaves. Photos of adult feeding scars, larvae and its infestation are also provided.

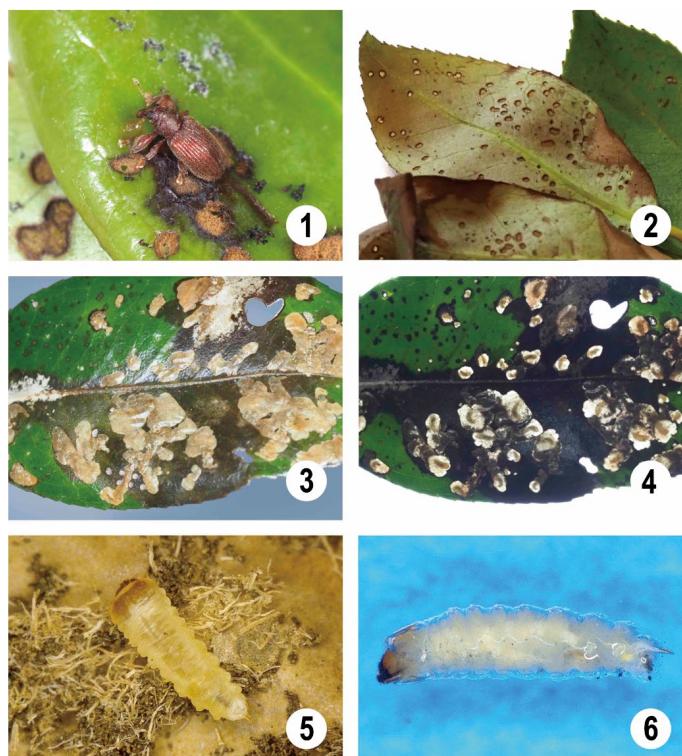
リュウキュウアシブトゾウムシ *Ochyromera ryukyuensis* Kojima & Morimoto, 1996 は、奄美群島から八重山諸島にいたる琉球列島（奄美大島、徳之島、沖縄本島、石垣島、西表島）から記載された種で、生態に関する知見は、成虫がヤブツバキ *Camellia japonica* (ツバキ科) から得られること以外は知ら

れていなかった（小島, 2008）。筆者は石垣島において、本種をヤブツバキから採集し、飼育下で成虫による葉の摂食ならびに摂食痕を確認するとともに、その過程で葉内に潜葉する幼虫を多数確認し、ヤブツバキが本種の寄主植物であることが確認できたので報告する。

検視標本. 4 exs., (成虫), 石垣島屋良部岳, 14. III. 2020; 4 exs., 23. III. 2020, 筆者採集 (成虫); 60 exs., (幼虫), 19. IV. 2020, 筆者確認 (23. III. 2020 採集の成虫が飼育下で産卵、孵化; 計二葉)

飼育は、小型のタッパ ($4 \times 5 \times 10$ cm) を用いて行い、ツバキの新葉のついた枝先を与え、室内常温下で行った。当初は、現地（石垣島）で採取した葉を与えたが、成虫の食害も加わり腐葉化したので、神奈川県厚木市で採取したヤブツバキの葉を与えた。

飼育下で成虫は新葉の裏面に静止し、裏側から葉を摂食し、斑点状の食害痕を残した (Figs. 1, 2)。成熟葉にも少ないながら食害痕が見られたが、新葉に比べ明らかに少なく、成虫は新葉を好んで摂食するものと思われる。一方、潜葉虫は成熟葉にのみ見られ、幼虫が確認できた二葉のうち、一葉からは 20 個体ほどが、もう一葉からは 40 個体ほどの潜葉が確認できた。飼育下という状況にもよるかもしれないが、一葉にまと



Figs. 1–6. Adult and larval habitus of and infested leaves by *Ochyromera ryukyuensis* Kojima & Morimoto. 1, An adult on a leaf of *Camellia japonica*; 2, adult feeding scars on leaves of *C. japonica*; 3, a leaf infested by larvae; 4, ditto, transparent in sunlight; 5, larva, dorsal; 6, ditto, lateral.